



OKAYA

岡谷ロータリークラブ

- 会長／竹村 一幸
- 副会長／小野 仁 中畑 隆一
- 幹事／小口 泰史
- 会報・雑誌・広報委員長／坂井 忠彦

- 事務所／岡谷市中央町 1-4-12 ホテル岡谷 3F
Tel/0266-22-6939 ・ Fax/0266-23-6939 ・ URL: <http://okayarc.org> ・ E-mail: okayarc@amber.plala.or.jp
- 例会／毎週火曜日 PM12:30 ホテル岡谷

第 2325 回例会 2007 年（平成 19 年）1 月 30 日（火）

司 会：山岡正邦

斉 唱：我等の生業

点 鐘：竹村一幸

ラッキーNo.：No. 33 佐藤有司

会長挨拶

新春に入り早くも一ヶ月が経過いたします。

千年ほど前の中国北宋の政治家范仲淹(ハンチュウエン)の言葉に「天下の憂いに先んじて憂え、天下の楽しみに後れて楽しむ」人の上に立つ者のあるべき姿勢を説いた言葉で「先憂後楽」という慣用句はここから生まれ、岡山の後樂園も東京の後樂園もこの言葉にちなんで名付けられたと言われております。

自らが楽しむなどは最後であり、まず世の中や社会や組織の憂えを無くすことに心砕かねばならないと言っております。これを忘れた政治家や経営者はいつの時代にもいる。それどころか昨今はその地位を自らのために楽しみ、悪用し憂いの種を撒き散らす知事らが相次いでいる事は真に残念な事で、ロータリーの“超我の奉仕”を理解してほしいものだと思います。

本日は当クラブの名誉会員でもある林市長さんに卓話を頂きます。昨年の土石流災害ではいち早く自衛隊の出動要請をして復興に努められ、経費の削減など健全な市政運営をされている市長さんに改めて敬意を表したいと思っております。本日はよろしくお願い申し上げます。

幹事報告

- ・ 2月のRレートは118円です。
- ・ (株)クマヒラ・熊平雅人様(東京RC)より「抜粋のつづり」が届きました。レターケースに入れてあります。



卓話 「市政の現況補報告」

岡谷市長
林 新一郎 様

お客様というご紹介頂きましたが、私も18年間岡谷RCの会員でロータリー精神は骨の髄まで染み込んでいるつもりでございます。

今日の卓話は取り留めの無い話になってしまうかも知れませんがどうかロータリーの理解と友情でよろしくお願いします。

さて、昨年7月19日の豪雨災害に際しましては、当クラブまた、会員の皆様より特段のご配慮を頂き誠にありがとうございます。様々なご支援を頂く中で災害見舞金、義援金等が2億円を超えました。これは認定された300以上の方に分配委員会の配分により配分をしているところでもあります。引き続き皆様方からの防災行政へのご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。

さて、岡谷市の財政状況についてお話をさせていただきます。岡谷市の財務指標を見て頂ければお分かりになりますが、岡谷市は財政的には中の上くらいの位置づけになりまして、健全財政を保っております。岡谷市の財政は長期的、計画的な運営の中で借金をし、市民のニーズに応じていくと言う事です。しっかりとした対応をしております。

さて、昨年10月に岡谷市で行われました第6回の中企業都市サミットにおける岡谷宣言を受け、政府・中企業庁は平成19年度予算と税制改正等で措置を講ずるなど大きな成果を上げる事ができました。これは過去5回の中企業都市サミットの宣言を揚げてきた成果が岡谷で実ったと心から感謝申し上げます。

特に中企業都市サミットで取り上げて頂いた「元気組」の中企業を支援する「中企業対策費」の総枠について18年度1616億円から19年度1625億円に増額しました。そのうち特に、経済産業省分の中企業対策費は18年度1204億円から19年度1245億円と41億円の大幅増で40億円以上の増額は9年ぶりの事です。

内容としては安倍内閣の柱であります格差是正(大企業と中企業、都市と地方等)や再チャレンジ等も盛り込んでおります。「中企業地域資源活用プログラム」各地域の強みである地域資源を活用した中企業の新事業創出を総合的に支援する。「再チャレンジ金融支援」「モノ作り中企業に高度化」など中小ものづくり高度化法に基づき研究開発力の強化や人材の育成・確保などを支援をしていくものであります。

また、税制に対しましては一番、中企業で悩みの深い「事業継承税制」について、生前贈与との精算制度の改善、種類様式の評価方法の明確化が大幅に改善がなされ、相続税の重圧から少しでも経営が楽になる方向に動いて参りました。

中小同族会社の保留金課税制度が撤廃されました。(資本金1億円以下の中企業)また、特殊支配同族会社の役員給与の損金参入制度措置を大幅に見直ししました。適用除外基準所得を800万円以下から1600万円以下に引き上げがなされました。中企業の経営に大いに役に立つものと考えます。

岡谷市は工業立市を表号して久しい都市であります。岡谷市のモノ作りが元気でないとならば全ての岡谷市の産業が沈滞をしてしまいます。岡谷市のモノ作りが一時空洞

化が激しく、希望の光が見えなかった時期がありましたが、スマートデバイス(超精密加工技術)のモノ作りの世界的な集積地を創っていくと生産現場の皆様方との明確な目標に向かって進んで参りました。

旧通産省から経済産業省に変わった今日まで一貫して国の大きな支えを頂きスマートデバイスの世界的な集積地が形成されつつあると言う事は岡谷のモノ作りの将来に楽しみなものがありますし、海外に決してシフト出来ない部分を岡谷市に留め置くと言う事が、少しずつ出来始めていると感じております。

岡谷RCメンバーのモノ作り関係の皆様方夫々のご努力が素晴らしい成果を収められておられます事は心強い限りでございます。

新年度の予算編成ですが、岡谷病院、塩嶺病院の統合事業も2年目に入っております。診療科目の検討、人事交流も行い、ほぼ成功を見ております。この3月の議会では新病院の建設場所、開設のポリシー、診療科目を含め大枠ではありますが示して行く作業が最終段階に来ております。市民の命と健康を守る拠点となるよう取り組んでおります。

岡谷RCの皆さんが理解と友情をさらに広げ、ロータリアンとして社会的なステータスをしっかりと保ってご活躍されておられる事に対しまして敬意と感謝を改めて申し上げ、皆様方のご健勝を心からお祈り申し上げます。ありがとうございました。

岡谷市役所 秘書課 古屋博康様
総務課 新村尚志様

ニコニコボックス

井上保子・牛山幸一・太田博久・大橋正明・小口俊光・小口泰史・尾関秀雄・小野仁・河西洋・笠原久平・北村正春・小松洋司・佐藤有司・杉田隆夫・高木昭好・竹村一幸・塚田昌滋・瀧透・浜俊弘・林裕彦・林靖高・藤森睦美・宮坂伸・宮沢由己・矢崎宏明・山岡晴男・山岡正邦・山岸邦太郎・山崎典夫・吉江信介・宮坂宥澄

本日の卓話を頂く林新一郎岡谷市長さんを心から歓迎致します。

出席報告

会員数50名、出席者43名、出席率86.27%、前々回訂正92.00%

2006-2007年度 RIテーマ
率先しよう
LEAD THE WAY

